



杉並区

子どもたちの健やかな成長を祈って

30.5.1
杉並区広報課

区内各所でこいのぼりを楽しめます

初夏の風物詩である「こいのぼり」。都市部では目にする機会が少なくなりましたが、区内を流れる善福寺川や妙正寺川では、今年もたくさんのこいのぼりが元気に泳いでいます。

少子化やマンション世帯の増加などで、都市部ではあまり見かけることのなくなった「こいのぼり」。しかし、子どもたちの健やかな成長を願う気持ちは今も変わりません。区内でも町会の皆さんや自治体によって掲げられた初夏の風物詩を、善福寺川や妙正寺川で楽しむことができます。

善福寺川で平成11年から続いているのが、「善福寺川鯉のぼりの川渡し」（堀ノ内1-19付近）です。これはこの地域の、堀ノ内一・二丁目町会によって、こいのぼりが大空を泳ぐ姿を後世に引き継ぐとともに地域の子どものみんまで育てていくことを目指し行われています。

今年も例年同様、善福寺川の両岸に6本のロープを渡し、それぞれ10あまりのこいのぼりを結んでいます。全部で60あまりのこいのぼりが風に吹かれて泳いでいます。これらのこいのぼりは、町会の住民の家に眠っていたものを活用して始めましたが、年月が経過する中で、こいのぼりは色あせたり破れたりしたため、少しずつ買い足すなどしてきました。

また、子どもが大きくなりダンスや物置の中で眠っているこいのぼりを再び大空に泳がせてほしいと寄付されたものも含まれています。今年は5月11日（金）まで楽しむことができます。



妙正寺川で区が平成18年から行っているのが、妙正寺公園（清水3-21-21）の目の前、落合橋付近での飾りつけです。この場所は、区内在住の小柴昌俊さんがノーベル物理学賞を受賞した記念に整備された「科学と自然の散歩みち」と呼ばれる散策コースの中にあります。30ほどあるこいのぼりのうちの一部は、吊るすためのロープを胴体の中に貫通させているため、いつもと一味違う、力強い姿が特徴です。展示は5月6日（日）までです。



【問い合わせ先】

総務部広報課：03-3312-2111（代表）